



暮らしのサポートセンター通信

令和2年1月1日発行 第6号 発行：くらサポ連絡協議会



新年あけましておめでとうございます

令和元年の昨年は、皆様にとって良い年でしたか？連絡協議会では、7月に「知って得する福祉の情報」と題し勉強会を開催しました。時間や内容を工夫した10月の「くらサポ大広場」では、7つのくらサポとTHF・支援員が一致協力して素晴らしい会になったと思います。

しかし、まだまだくらサポは市内全域に浸透してとは言えません。今年は、市民の皆さんにこれまで以上に知ってもらい、活動してくれる人が増えるように頑張ります。連絡協議会も昨年以上に忌憚のない意見を出し合い団結し、より良い協議会にしていきたいと思います。高齢社会になって、くらサポの存在意義は益々高まると思います。お互いに切磋琢磨して、笑顔で楽しく今まで以上のくらサポを目指していこうではありませんか。



くらサポ連絡協議会
副会長 河辺和義

最後に竹田市、竹田市社会福祉協議会係各位、会員の皆様の益々のご発展とご健康をお祈り申し上げ、新年の挨拶に代えさせていただきます。

みんな集合！くらサポ大広場！！

10月30日(水)に、市内7ヶ所のくらサポ会員が一堂に会する「くらサポ大広場」を開催しました。4回目となる今回は、会員の声を通して活動を振り返ろうと、利用会員さんから、くらサポに関する想いを聞かせていただきました。当日お話があった様子をご紹介します。



90代、一人暮らし 利用会員の声

一人になって、特に困ったのが食事だなあ。男の一人暮らしは色々大変なんよ。もう運転もできんし、そんなに歩けんしなあ。



くらサポさんには、掃除と食事の準備を頼んでるけど、一番おしゃべりが楽しみなんよ。家に来てくれる日が待ち遠しくてなあ。

手伝ってくれて、本当に助かるんで。暮らしに欠かせんし、お陰で長生きできて、ありがたいわあ。

いつも私達が行くのを楽しみに待ってくれるんよ。私達も、いつか利用会員になる時が来るから、今のうちに活動して仕組みを作っておこうと思ったんよね。だから、この活動は自分のため

でもあるんよ。自分ができるちょっとのお手伝いが、誰かの役に立つのは嬉しいんで！



冷蔵庫にある物で1品作るんだけど、調理中はおしゃべりに花が咲いて、1時間があっという間に過ぎるんよ。私達が帰る時は、名残惜しそうに「ありがとう、また来てな」とお見送りしてくれるから、その声のお陰で「また来よう」「くらサポの活動ができて良かったな」と思えるんよね。



活動会員の声

活動会員、利用会員、大募集中です！詳細は、1月発行の『社協だより』をご覧ください。



くらサポ「りんどう」のQRコードです。各くらサポのブログも読めます！



みんな笑顔の くらサポ大広場



広場で作った芸術作品の数々



THF のレクは大盛り上がり！

くらサポ大広場
～みんなでつなごうくらサポの輪！～

会員大集合！
はいチーズ！



炭坑節を踊りました♪自然と体が動きます♪

利用会員さんが
書いてくれました

くらサポマジック

双城利用会員 阿部 隆子 (80)

くらサポには、現在約千人の活動・利用会員がいて、ちょっと困りの支援や、広場での集いを楽しんでいるそうです。私は、くらサポ「双城」の利用会員で、月に2回広場に参加します。まず最初に、送迎の運転手さんの明るい声と優しい笑顔に迎えられ、幸せ作りの始まりです。車の中は、みんなの歓声でいっぱいになります。

広場に着いたら、笑顔の渦の中で、朝の挨拶。歌ったりゲームをしたり体操をしたり、手作りの美味しい昼食をいただいたりしていると、かつて経験したことのない幸せ感を味わうことができます。この感覚は、広場に行かない日でも持ち続けられます。この不思議な感覚を『くらサポマジック』と私は呼んでいます。広場には、お金や物で買うことのできない本物の幸せを生むエネルギーが、集まるみなさんの力で作り出されていると思っています。

これから、みなさんと一緒にくらサポマジックを楽しみたいです。

編集委員のこぼれ話

役を一つ仰せつかる時、「え～っ、どうしよう？」などと思ったものだが、一つ増え、また一つ増え、気が付けば14もの役が小生の身に…おまけに百姓は、昨年の6倍の面積。カレンダーは予定で真っ黒。くらサポもスケジュールがなかなか合わず、トンとご無沙汰。みんなに申し訳ない！

人の感覚マヒとは、何ともおじいもんじゃ～ おさ G



その他、何かございましたら
竹田市社会福祉協議会 地域連携課

☎62-2122 まで

お気軽にご連絡ください！